

第4回 第2次門真市健康増進計画・食育推進計画審議会 会議録

日 時：令和7年2月26日(水)14時～15時

場 所：保健福祉センター 4階 会議室

出席者：西川会長、三村委員、中尾委員、小野委員、小峰委員、和多委員、市原委員、山崎委員、
中塚委員、木村委員

事務局：

- 議 題：1 パブリックコメントの実施結果について
2 門真市第2次健康増進計画・食育推進計画 健康かどま（案）について
3 答申（案）について
4 その他

【事務局】

- ・ただ今より、第4回第2次門真市健康増進計画・食育推進計画審議会を開催いたします。委員の皆様におかれましては、本日は、お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。本日、司会をさせていただきます健康増進課参事の池尻でございます。よろしくお願いいたします。
- ・本日は、9名の委員のご出席をいただいておりますので、門真市附属機関に関する条例施行規則第5条第2項の規定により委員総数14名の過半数が出席となり、会議が成立していることをご報告いたします。なお、新村委員、谷掛委員につきましては、ご都合がつかず、やむを得ず、ご欠席となっております。なお、本日は傍聴者はおりません。
- ・また、後日議事録の作成を行うため、本日の会議を録音させていただきますので、あらかじめご了承ください。携帯電話をお持ちの場合は、電源を切るか、マナーモードにさせていただきますようお願いいたします。
- ・それでは、本日の資料の確認をお願いいたします。本日の資料は

次第

座席表

【資料1】門真市第2次健康増進計画・食育推進計画 パブリックコメント実施結果

【資料2】答申書（案）

冊子として、

門真市第2次健康増進計画・食育推進計画 健康かどま（案）

【参考資料1】門真市附属機関に関する条例

【参考資料2】門真市附属機関に関する条例施行規則

【参考資料3】第2次門真市健康増進計画・食育推進計画審議会委員名簿

【参考資料4】第2次門真市健康増進計画・食育推進計画審議会の会議公開要領

【参考資料5】第2次門真市健康増進計画・食育推進計画審議会の会議傍聴要領

追加資料 文言修正・追記一覧

資料は以上でございます。資料は全て揃っておりますでしょうか。もし、不足の資料がございましたら、おっしゃってください。

・それでは、ここからの議事進行については、西川会長にお願いしたいと思います。

(三村委員到着)

【西川会長】

・それでは、お手元の会議次第によりまして、会議を進行いたします。次第1の「パブリックコメントの実施結果について」、事務局に説明を求めます。

【事務局】

- ・それでは前回までにご審議いただいた門真市第2次健康増進計画・食育推進計画の内容をもって、パブリックコメントを実施しましたので、その結果についてご報告いたします。意見の募集は、1月10日から1月31日までの約3週間行い、市内12カ所の公共施設及び市ホームページ上で素案を公開して実施いたしました。今回は電子申請のLoGoフォームを使用しても意見を提出できる形をとりました。また、広報かどま1月号や門真市公式LINEにおけるピックアップニュースにおきましても、実施について周知いたしております。
- ・お手元の資料1「門真市第2次健康増進計画・食育推進計画 パブリックコメント実施結果」をご覧ください。今回、意見の提出はございませんでした。
- ・なお、社会情勢を鑑みて内容を精査したところ、修正すべき点がありましたので、会長・副会長に相談の上、修正・追記しております。修正した計画素案につきましては、本日の議題2において、後ほどご説明いたします。以上です。

【西川会長】

・説明ではパブリックコメント意見提出なしということですが、委員の方々から何かご意見ございませんでしょうか。なければ次の議題へ参ります。次第2「門真市第2次健康増進計画・食育推進計画 健康かどま（案）について」事務局より説明をお願いします

【事務局】

- ・前回の審議会後の素案より、追加・修正した点について、ご説明いたします。1ページ現況と評価、新型コロナウイルス感染症について、災害時、熱中症対策等についてを追記。
- ・21ページ現況と評価、適正体重に（BMI18.5～25.0未満）と追記、年代によって適正体重が変わっていくことについて理解を深める必要があることを追記。
- ・29ページ生活習慣病の発症予防・重症化予防とフレイル対策の一文を、生活習慣病の発症予防・重症化予防とその対策に変更、中年期から高齢期においてはいきいきと自分らしい生活を送れるよう低栄養の予防やロコモティブシンドローム・フレイル対策に力を入れて取り組む必要がありますと変更。
- ・30ページ誰もが自然に健康になれるまちづくりに本市はウォーカブル推進都市に賛同し歩行者空間の改善及び市内各エリアの回遊が生まれる歩行者動線の確保に取り組み居心地良く歩きた

くなるまちなかづくりを進めていることからこのようなまちづくりと連動した取組を検討していくことも健康無関心層に向けて有効と考えられますを追加。

- ・ 34ページ重点課題、中年期から高齢期における運動機能の維持向上とロコモティブシンドローム及びフレイルの予防に変更。
- ・ 37ページ評価指標、ストレスを感じる人のうちストレスを解消できる人の割合の項目を追加、心理的苦痛を感じているものの割合（Ｋ６に基づく）を追加。
- ・ 38ページ地域・関係機関・行政の取組に、多様な情報媒体を通じた、適正な飲酒量と多量飲酒の危険性、休肝日の設定、アルコール依存などに関する正しい知識・情報の普及・啓発の一文を追加。
- ・ 44ページ取組の方向性、PHR（Personal Health Recordの頭文字をとった略語で、個人の健康・医療・介護に関する情報のこと）を用いた健康管理を進めますの一文を追加。地域・関係団体・行政の取組で、健診後の保健指導における実施体制及び内容の充実、医療機関への受診勧奨に変更。
- ・ 45ページ評価指標で、骨粗鬆症検診の受診率 検診データ（国）と修正。
- ・ 49ページ委員名簿、脇田小学校を水桜小学校に変更。
- ・ コラムを33ページ「大人も子どもも野菜を食べよう」、35ページ「ロコモ？フレイル？」、39ページ「適正な飲酒量とは」、41ページ「ＣＯＰＤ（慢性閉塞性肺疾患）とは」、43ページ「８０２０（ハチマルニイマル）とは」、45ページ「ＰＨＲ（パーソナルヘルスレコード）とは」追加。以上です。
- ・ また、冊子作成にあたり、参考資料の内容についてシティコードさんより説明をお願いします。

【事務局：コンサルタント】

- ・ 資料の46ページ以降参考資料ということで、46ページが作成体制と経過として審議会も含めどいう体制で臨んだかについて設置要項や49ページにはこの審議会委員名簿を載せています。50ページ以降は市の中の体制、策定委員会、策定委員会のワーキンググループの設置要項など抜粋したものを載せております。52ページでは会議の開催状況ということで令和5年8月25日に庁内の委員会がありその後審議会の本日までの経過をつけております。53ページからはこの後答申がありますが、ここに答申書を掲載します。
- ・ 54ページからはアンケート調査結果の概要ということで、現行計画はアンケート結果を結構なボリュームを割いて載せていましたが、今回はそれぞれの目標指標・評価指標に関わる質問だけに絞って結果を紹介しております。
- ・ 79ページから81ページに渡って、若干専門的かなと思われる単語について用語解説をつけています。目を通してもっとこの部分は難しいので解説があった方がいいという意見があれば事務局までお願いします。

【西川会長】

- ・ ただいまの説明について、何か質問や意見等はございませんか。
- ・ 大雑把な流れとしてはパンデミックがあったので記述をし、気候変動や熱中症についても流れとして書いておくものかと思います。また、データ医療、ＤＸがあり、ナショナルデータベ-

スができたことなど、これらは従来とは少し違う流れでだと思うので追記することが必要かと思います。これは日本全国でも起こっていることなので、しばらくはこの流れは続くでしょう。

- ・ローカルには肝障害や肺炎で死んでいる人が多く、データ分析としてこれが喫煙によるのかアルコールによるのか、他には脂肪肝や歯科受診の低下で誤嚥性肺炎が増えているのかなど分析の必要があり、臨床的にどれくらいの寄与率があるのか、多変量解析のようなものがあればプロとしてはありがたいと感じます。何が寄与して死亡率を押し上げているのか、解析をそこまで踏み込んだことは必要ないでしょうか。

【事務局：コンサルタント】

- ・分析があればいいのですが、実際そのバックデータをどうとるのが難しいと思います。計画素案のなかでも亡くなった人の死因は統計上は把握できますが、その人が亡くなるまでの過程が国保ではデータベース化されていますが、実際はそれは市民の6分の1程度なので、残りの6分の5民間を含めた健康保険や医療保険受診者のデータは市役所では取りづらい。今後DXの流れのなかでいろいろつながって分かっていくのかとは思いますが、次の12年後の計画には間違いなく入ってくると思います。今の段階では国保の人だけを見て門真の状況というのは言いづらいというのが正直なところです。

【西川会長】

- ・非常に的確な指摘です。データがあってもそれをつなげて解析していいのかなどまだはっきりしておらず、概念としてはそうしたものもあるといった状況ですね。大阪府の場合は阪大などで疫学的な研究が少し進み始めているとも聞いています。
- ・今後、門真の肝臓死、肺炎死についてもう少し分かってくれば進みやすいでしょう。それまでは住民のみなさんと医療機関で気を付けて防いでいくということになるでしょう。
- ・他に何もなければ門真市第2次健康増進計画・食育推進計画 健康かどま（案）に修正なしで確定してよろしいでしょうか。

【木村委員】

- ・32ページ、塩分を多く含む食品を控えるようにしている人の割合部分で、現状値はアンケートのパーセントが出ているので、目標値が摂取量減少と実績値なのは対比していないので評価できないのではないですか。
- ・アンケート結果の増加を目標でいいのではないのでしょうか。府計画ではグラム数なのでそちらに合わせるのであれば実績値もグラム数にしておくべきだと思います。

【事務局】

- ・塩分摂取量を気にする人の割合を増やすことが目標になりますが、増加と記載すると塩分摂取量自体を増やすような形に見えてしまうのではないかという話があり府に合わせる形で文言修正しましたが、指摘の通り実際の数値を把握できないので意識的な面での評価しかできません。

【木村委員】

- ・やる気のある人ということになるので、増加という表現でいいのでは。

【西川会長】

- ・塩分摂取量の減少を目指す人の割合の増加ということになりますか。

【中塚委員】

- ・この食塩摂取量の減少という形に合わせた方が次回以降アンケート時に比較可能である代わりに、次回は比較ができないということですか。
- ・要は物差しが違うので、塩分を多く含む食品を控えるようにしている人の割合とは別の項目でなければおかしいということですね。

【木村委員】

- ・国民栄養調査なら塩分量が算出できますが、市の調査で国民栄養調査並みのデータを集めるのは大変かと思いますので、このアンケートのままの方が評価しやすいと思いますがどうでしょうか。
- ・府は大阪府全体のデータを持っているので食塩の数値を評価に使っていますが、もし同様の評価をする場合、市独自の塩分の調査を実施すれば可能かと思います。

【西川会長】

- ・塩分のグラム数が分からないのであれば、塩分を控える人での比較とすべきでしょう。

【事務局】

- ・修正したいと思います。

【西川会長】

- ・他になれば今の1点修正をふまえ確定してよろしいでしょうか。

○一同了承

【西川会長】

- ・では承認いただきましたので、今説明いただいた内容で答申としたいと思います。
- ・それでは、次第3の「答申（案）について」事務局より説明をお願いします。

【事務局】

- ・それでは、資料2の答申書（案）をご覧ください。令和5年9月に開催いたしました第1回の本会議において、この審議会に第2次計画策定について諮問があり、この間の審議の内容を踏まえまして、本会議より答申をいただくこととなっております。
- ・それでは、答申書（案）を読み上げます。令和5年9月5日付け門保増第1349号で諮問された、門真市第2次健康増進計画・食育推進計画の計画策定について、別添のとおり答申します。現在、第2次計画（案）ということで、先ほどご承認いただきました冊子を添付して答申とさせていただきます。

【西川会長】

- ・では先ほどの修正を加えた案を私から市長へ答申させていただきますがよろしいでしょうか。

○一同了承

【西川会長】

- ・ それでは、この内容で答申を行うことといたします。
- ・ 修正と答申準備の間、順番に審議会について一言いただければと思います。

【木村委員】

- ・ 私自身も非常に勉強させていただきましたし、門真市民の健康に貢献する良い計画書として役立てていただければと思います。ありがとうございました。

【中塚委員】

- ・ 歯科分野では新しい健康に関する問題、PHRなどデジタル化をどうするかなど力を入れていくところなので、次期の際にはそういうところもアップデートできるように考えながら過ごしていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

【山崎委員】

- ・ なかなかこれを市民が意識して取り組むのは難しいだろうと思います。みなさん健康には興味があり気を使ったりしていますが、なかなかとっかかりがないと思うので、こうしたものを使って一歩でも進められるように関わってよかったと思います。

【市原委員】

- ・ 今回の計画については12年間と長い計画です。各種計画を見ていると大体5年スパンが多く高齢者保健福祉計画は3年ごとの改定です。12年間の計画期間は非常に長いですが、中間年で見直し改定を実施し推進を図るとのことですので、じっくり取り組みを進めていけるという点ではこれでいいのかと思っています。
- ・ 私個人のことでありますが、現行の改訂版を策定した時には事務局側にいましたが、今回福祉を代表する一委員として関わらせていただきました。ありがとうございます。

【和多委員】

- ・ シルバー人材センターで会員さんをみても非常にお元気な人もおり、個人差が大きいと感じます。やはり食生活や仕事、運動いろんなことが大事で、高齢になった際に特に大事なのはやりがいや生きがいといった何かを目標にやっけていくことが重要だと思います。
- ・ 計画にそういうニュアンスが少しでも入れられたかと思いますので、これをベースに会員さんに食育などについてもお話していければと思います。ありがとうございます。

【事務局】

- ・ それでは、準備が整いましたので、「門真市第2次健康増進計画・食育推進計画 健康かどま（案）」につきまして、西川会長から答申をお願いいたします。

【西川会長】

- ・ それでは答申いたします。門真市長宮本一孝様、門真市第2次健康増進計画・食育推進計画審議会会長西川より、門真市第2次健康増進計画・食育推進計画について答申いたします。令和5年9月5日付け門保増第1349号で諮問された、門真市第2次健康増進計画・食育推進計画の計画策定について、別添のとおり答申します。よろしくお願いいたします。

【事務局】

- ・ ありがとうございました。それではここで宮本市長よりみなさまへお礼のご挨拶があります。

【宮本市長】

- ・みなさまお疲れ様でございました。今般門真市健康増進計画・食育推進計画審議会、計4回行われたということで熱心にご議論いただきました。先ほど会長から答申をいただいたところでございます。本当にご協力いただきまして誠にありがとうございました。ご案内の通り門真市で健康増進、また食育含めてさまざまな健康に関する取り組みをしてきておるものの、実際のところ健康寿命というふうなところに関してはなかなか芳しくないというのが実情であります。この点は本市が持つ課題のところでもありまして、その点は十二分にみなさん方の日々のご尽力をいただいている中で意識というのは徐々に変わりつつあるのではないかと考えております。
- ・2025ということで団塊の世代の方々が全員後期高齢に移ってこられ、またこしばらく私も周囲を見てる中で言えば、若い方々も含めてそうですが、やっぱり健康に対しての意識というのは明らかに変わりつつあるというふうに思っています。ちょうどこの4月からは大阪関西万博、健康と長寿というのはひとつのテーマでもありましたが、そういった面ではずいぶん人の意識は変わってきてるんじゃないかと、日々からできるだけ運動を心がけるであるとか、食事のとり方もそうですし、そういった面ではいかに健康に長生きをするかというところが変わってきているというところで、今後やはり社会保障費、医療費の拡大は見えてるところというのも多分にもありまして、こういったところをどううまく抑制していくかと同時に、ただ適正化するというだけではなく、市民の方々お一人お一人が自分のためにという観点でこういった計画に基づいて協力していただいく必要があるのではないかと改めて思っているところです。
- ・そんな面では門真市でもPHRということで、今度門真アプリというものを1月15日からスタートをさせていただきました。各関係機関のみなさんと協力を図りながら、より一層こういったところをスマートシティではないですがDXの力も借りてこういう意識づけをさらに一層深めることができるといふふうに思っておりますので、よろしくお願い申しあげまして御礼の言葉とさせていただきます。本当にお疲れ様でございました。ありがとうございました。

【事務局】

- ・ありがとうございました。なお、宮本市長につきましては、誠に恐縮ではございますが他の公務のためここで退室させていただきます。

【西川会長】

- ・では引き続き感想をお願いします。

【小峰委員】

- ・今回関わらせていただいて、いろいろアンケート結果などを見させていただいたら、やっぱり私はPTAの代表としてきているので食育のところなどが気になりました。いただきますと挨拶をする子どもの割合が減っているとか、そのあたりはおそらく保育園、幼稚園からずっと先生たちがきっちり指導はしていただいていると思いますが、そこが家庭でも上手に反映して、家庭でもやろうという習慣になってないのだと感じ、残念かと思いました。一緒に親とご飯を食べる割合も減っていて、やはりそういう一人でご飯を食べる環境で、一人だったらわざわざいただきますと言わないような面などもあるのかと思うと、時代的にもいろんなことが関わってきてこういう結果になっているのかと思いました。

- ・次の時にまでにどうなるか不安なのが、今部活は地域移行という形が増えてきて、部活に入る子がすごく減っておりこれからも減っていくような気がしています。私の時は部活に入るのが当たり前で、昔にやっていたバレーボールを母親になってもやろうとか、続けて継続して運動する機会が部活の経験をもとにあったと思いますが、今の子は運動したことがないから今後もしていかないという道が増えていくんじゃないかと思い、次の計画を立てる時に運動を継続的にしている大人の割合にも関わってくるのではないかと感じました。ありがとうございました。

【小野委員】

- ・2025年の日本人の食事摂取基準が発表されましたが、各年代でやはり魚の摂取が少ないこと、ビタミンDも摂取が少ないこと、野菜もやはりもう1品足りないなどなかなか目標値に届かない。今の物価高騰で沢山野菜をとりましようと言ってもなかなか難しいこともあり、自分の業務や地域と関わっている事業としても、これから食事の内容について何か発信ができるように精進していかなければと思いました。またご協力どうぞよろしくお願いします。ありがとうございました。

【中尾委員】

- ・個人的には参加させていただいて、今まで薄ぼんやりと健康寿命などの言葉を聞いてもなんとなくメージ的な感じでしたが、参加させていただいて専門家の方の意見などいろいろかがって自分でも調べてみたりすることで、去年初めて骨粗しょう症検査を受けようと思い立ち受けたところ、20代の骨密度ですよと言われまして驚きましたが、親からの受け継いだ遺伝などもあるかと思いますが極力カルシウムを採ったりそういうものに気をつけるようになったのはちょっと前進かなと思います。
- ・先ほど市長のお言葉にもあった通り、これだけの方がみなさん支えてくださって、市民のために考えてくださっているのだから、市民もやはり自立した生活を続けなければいけない、意識を高く持たなければいけないと感じました。これからも市民のためによりしくお願いします。ありがとうございます。

【三村委員】

- ・校長会ということで、学校現場、教育現場からの声ということで呼んでいただいたと思いますが、実は教育現場もいろいろ変わってきており、探求的な学びということで子どもたちが自分で課題を見つけてその解決の仕方でも自分で探ってそれをどんどん発信して、助言をもらってどんどん自分で良くしていこうというやり方に今取り組んでいます。
- ・本校でも取り組んでおるんですが、つい先日5、6年生の発表があり、子どもたちが好きにテーマを選んでいい形でしたが、やはり子どもたちは食事、食育というか食について興味がすごく、面白い発表をしておりその中には食品ロスのこともしっていました。この取り組みの大事なのは、子どもたちの発表を聞いてなるほどで終わるのではなく、聞いている大人、保護者も含め教師も、だからじゃあどうしていこうかな、こんなとこわからないねと返していく、フィードバックがすごく大事で、そのフィードバックを聞いた子どもが次これやってみよう、これをもっと深めようと考えするというサイクルをどんどん作っていこうというのが今の教育の大きな流れになっています。

- ・そういう意味では、やはりそのアウトプットを聞く側、大人であるとか教師、他の子どもたちがもっといろんなことを知ってなければいけないと感じています。やはり保護者などが、これだけ皆さんの意見を聞いて作っているこの素晴らしい冊子を手にとって目にし、知識として得て、学校のフィードバックの時に門真市はこんなこと書いてたよと返してくれると、子どもたちもまた興味をもっと大きくして取り組めるのではないかと今日はすごく思いました。いろいろ勉強させていただきました。ありがとうございました。

【西川会長】

- ・みなさま、本当にありがとうございました。委員のみなさまにおかれましては、公務等お忙しい中、当審議会にお越しいただき心よりお礼申し上げます。有意義な議論ができましたこともみなさまのご協力の賜物であると思います。本日をもちまして、門真市健康増進計画・食育推進計画審議会は終了とさせていただきます。
- ・これからもこの計画に基づき、すべての門真市民の健康寿命の延伸、食を通じた健全な心身と豊かな人間性の形成を目指していくにあたり、今後もより一層みなさまのお力添えをお願い申し上げます。私からの御礼の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。

【事務局】

- ・ありがとうございました。今回、委員のみなさまに審議を賜り答申をいただくことができました。改めて、事務局一同、心より御礼を申し上げます。先ほどみなさまからいただいたご意見・ご感想を心に刻み、今後この計画を的確に進めていけるよう努力してまいりたいと存じますのでぜひともご理解とご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。
- ・門真市第2次健康増進計画・食育推進計画 健康かどまにつきましては、最終的な内容を庁内で意思決定いたしまして3月末までの納品を予定しております。納品されましたら、委員のみなさまにお送りする予定ですのでどうぞよろしくお願いいたします。それでは以上をもちまして、第4回門真市健康増進計画・食育推進計画審議会を終了いたします。みなさまどうもありがとうございました。

(以上)